

令和4年度の雪対策の取組の検討

統合地区拡大の試行継続

【除雪連絡協議会での意見】

○特に大きな反対意見などはなし

>>> **除雪センターの在り方について検討**

◎除雪センター機能の集約

⇒要望の少ない夜間要望窓口の集約化の検討

～24時間体制のセンターを試行的に4箇所から1箇所に集約

- ・24時間の主センター1箇所
- ・深夜帯を除く時間帯の主センター3箇所
- ・支所センター5箇所はR3同様8時から17時
- ・大雪など天候悪化が予想される場合は夜間でも人員配置

◎要望処理体制の検討

⇒通話録音導入の検討

～要望処理の正確性の向上

路面管理手法の試行継続

【除雪連絡協議会での意見】

- ・少雪だったこともあり、どの程度検証できたのか。
→差異があまり見受けられなかったため検証を継続する。
- ・圧雪管理はザクザク路面になるリスクがある。もっと削れないのか。
→試行を検証しながら総合的に判断していく。
- ・排雪が2回確保されるなら、路面管理手法を改善しなくてもよい。
→単年度では評価できないため試行と検証を継続的に実施していく。

○特に大きな反対意見などはなし

>>> **R4以降も試行と検証を継続**

◎路面管理手法の試行の継続

- ・出勤基準に満たない降雪が続いた場合でも定期的に不陸整正作業
- ・除雪時に一定程度路面を削る作業を実施
- ・R3同様4統合地区ごとに1箇所のモデル地区を選定

歩道（通学路）の除雪

【除雪連絡協議会での意見】

- ・子供達や高齢者は、車道を歩く箇所が多くある。
→除雪手法の工夫や歩道除雪のあり方について、検討を進める。
- ・歩道は車で踏み固められないので、でこぼこして歩きにくい。
→でこぼこが発生しやすいため、必要に応じて削る作業で対応する。

○特に大きな反対意見などはなし

>>> **除雪手法の工夫や歩道除雪のあり方について検討**

◎通学路の歩道除雪や見通し確保の検討

- ・歩道除雪路線と通学路の再確認
- ・狭幅員の歩道や歩道がない通学路に対応可能な除雪手法
- ・学校周辺など優先的に見通しを確保する箇所の選定と雪処理強化

日中作業の試行

◆夜間作業の課題

- オペレータの高齢化や不足
→人口減少や働き方改革など事業環境の変化への対応
→不規則な勤務体制や夜間作業は若年層に敬遠されがち
- 朝方の降雪など予測できない気象状況への対応
→朝方の降雪に対応できる範囲は限られる
オペレータの高齢化や担い手不足など限られた人員・体制においても持続的に除雪作業が行える作業方法の検討が必要

【試行の内容】

- ・市内にモデル地区やモデル路線を定めて実施
- ・生活幹線や生活道路の日中除雪作業

【試行の課題】

- ・作業効率の低下
- ・日中の交通量に対応した安全管理
- ・公共交通機関や通学児童の登下校への配慮